

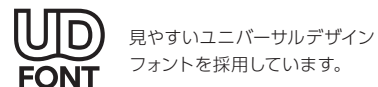
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



第 69 期 報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)



新緑の上高地から残雪の穂高岳

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5~6
研究開発の状況	P 7
トピックス	P 8
財務諸表（連結）	P 9~10
財務諸表（個別）	P 11
製商品の紹介	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社第69期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当期のわが国経済は、上期には安倍内閣による大胆な経済政策や米国の景気回復への期待などにより株価は上昇し、また為替相場では円安が進みました。その結果、企業業績、個人消費とも堅調に推移し、景気回復の明るい兆しがみられましたが、下期には円安傾向が一服したことに加え、ウクライナ情勢の緊迫化、中国経済の減速懸念などの影響により景気の持ち直しに停滞感が表れるなど先行き不透明な状態となりました。

このような情勢の中で当社は、医薬品事業におきましては、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ[®]錠」、腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルファスト[®]錠」「グルベス[®]配合錠」をはじめとする主力製品の育成に注力いたしました。また、シロドシンを中心とする海外展開は着実に進展していることに加え、昨年12月には当社創製品の痛風・高尿酸血症治療薬KUX-1151をファイザー社（アメリカ）にライセンスアウトしたことによる契約金などの技術料売上などが増加いたしましたことにより、売上高は610億9千万円（前連結会計年度比12.6%増）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業、物品販売業、建設請負業それぞれにおきまして増収となり、売上高は、93億9百万円（前連結会計年度比12.7%増）となり、当連結会計年度の売上高は703億9千9百万円（前連結会計年度比12.7%増）となりました。利益面では、増収による増益効果が大きく寄与し、営業利益、経常利益及び当期純利益はいずれも増益となり、当期純利益は90億9千3百万円（前連結会計年度比81.1%増）となりました。

研究開発におきましては、昨年9月にグルファストの2型糖尿病を効能・効果とした一部変更承認を取得するとともに、JCRファーマ株式会社との間でバイオ後続品の共同開発に関する契約を締結し、また、バイオ医薬品事業への更なる取り組みとして、本年2月にアルテオジェン社（韓国）との間でバイオ後続品の研究提携に関する契約を締結いたしました。

当期は中期経営計画「CORE 3」の最終年度でありましたが、連結売上高及び営業利益は当初の目標を上回って終了しました。そして、本年4月より計画期間を3年とする新中期経営計画「PROGRESS 3」をスタートさせております。ご案内のとおり、第69期定時株主総会終了後に開催されました取締役会の決議により、両角正樹が代表取締役社長に、私が代表取締役会長にそれぞれ就任いたしました。将来の持続的成長を企図する「PROGRESS 3」の達成に向け、新たな経営体制のもと全社一丸となって邁進してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成26年6月

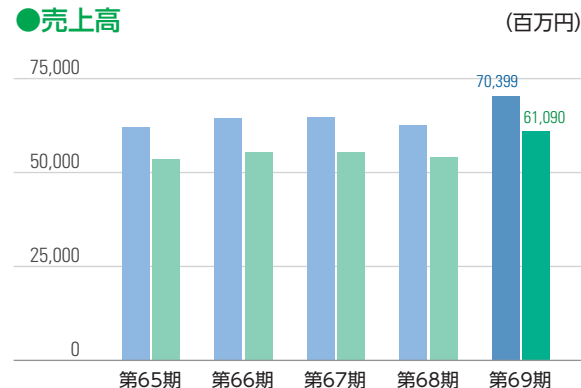


代表取締役会長 神津陸雄

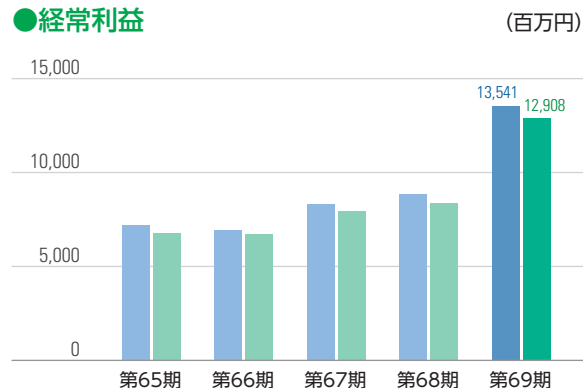
業績ハイライト (連結・個別)

■ 連結 ■ 個別

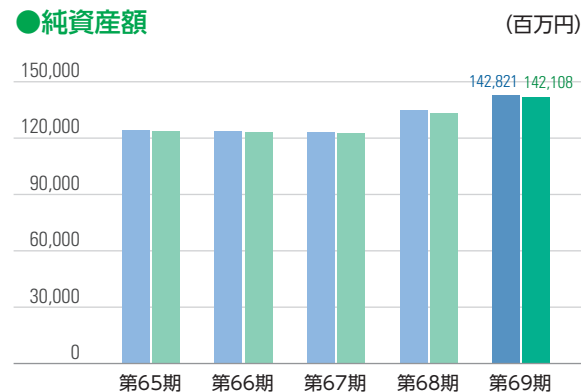
●売上高



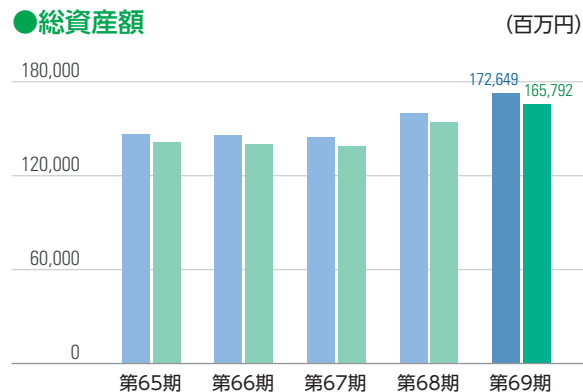
●経常利益



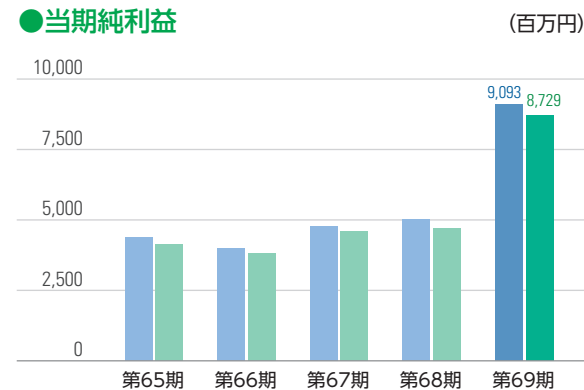
●純資産額



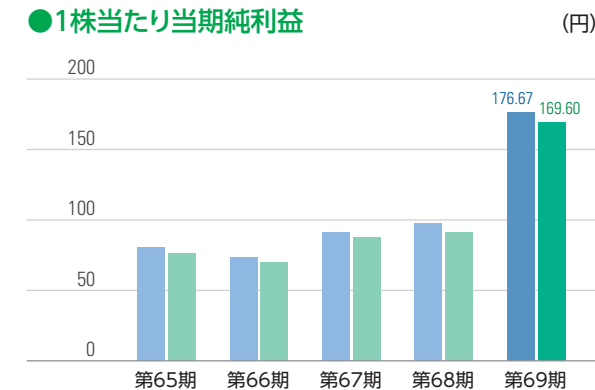
●総資産額



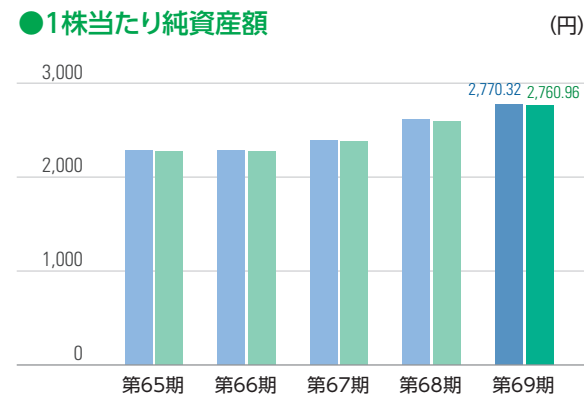
●当期純利益



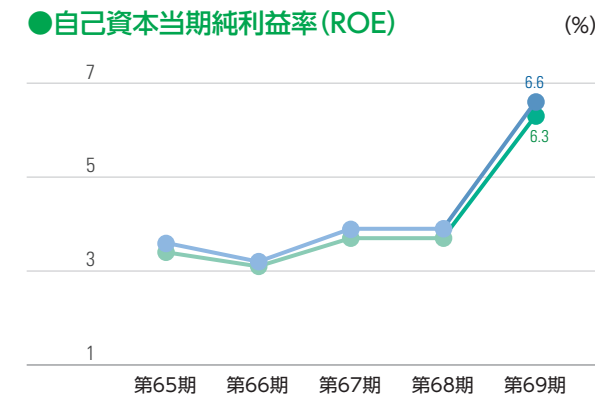
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本当期純利益率(ROE)



連結

		第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
売上高	(百万円)	62,178	64,393	64,618	62,491	70,399
経常利益	(百万円)	7,221	6,936	8,326	8,849	13,541
当期純利益	(百万円)	4,371	4,004	4,769	5,019	9,093
純資産額	(百万円)	124,221	123,932	123,385	134,784	142,821
総資産額	(百万円)	147,022	146,248	144,385	160,028	172,649
1株当たり当期純利益	(円)	80.52	73.78	91.35	97.52	176.67
1株当たり純資産額	(円)	2,285.37	2,280.04	2,393.17	2,614.22	2,770.32
自己資本比率	(%)	84.4	84.6	85.3	84.1	82.6
自己資本当期純利益率	(%)	3.6	3.2	3.9	3.9	6.6

個別

		第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
売上高	(百万円)	53,709	55,356	55,502	54,231	61,090
経常利益	(百万円)	6,759	6,724	7,940	8,348	12,908
当期純利益	(百万円)	4,141	3,806	4,593	4,702	8,729
純資産額	(百万円)	123,642	123,151	122,410	133,465	142,108
総資産額	(百万円)	141,533	140,121	138,981	154,456	165,792
1株当たり当期純利益	(円)	76.30	70.13	87.97	91.36	169.60
1株当たり純資産額	(円)	2,278.06	2,269.08	2,378.15	2,592.97	2,760.96
自己資本比率	(%)	87.4	87.9	88.1	86.4	85.7
自己資本当期純利益率	(%)	3.4	3.1	3.7	3.7	6.3
資本金	(百万円)	24,356	24,356	24,356	24,356	24,356
発行済株式総数	(株)	56,911,185	56,911,185	56,911,185	56,911,185	56,911,185
1株当たり配当金	(円)	32	34	36	38	40

事業の概況（連結）

当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府主導による経済政策を背景に円高の是正や株価の上昇など、景気が回復基調を示し始めた一方、後半には景気後退局面を抜け出したかに見えるものの依然として不安感の残る欧州経済や新興諸国経済の失速懸念の影響などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、企業間での市場競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲が徐々に改善されてきてはいるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も相俟って個人消費の持続力が不透明であるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、当連結会計年度の売上高は703億9千9百万円（前連結会計年度比12.7%増）、営業利益は123億1百万円（前連結会計年度比58.5%増）、経常利益は135億4千1百万円（前連結会計年度比53.0%増）、当期純利益は90億9千3百万円（前連結会計年度比81.1%増）となりました。

セグメントごとの業績につきましては、医薬品事業の売上高は、610億9千万円（前連結会計年度比12.6%増）となりました。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ[®]錠」、腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス[®]配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしましたほか、研究開発テーマの導出に係る契約金などの技術料売上ならびに国内販売提携先への供給額が増加いたしましたことなどにより増収となりました。なお、速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト[®]錠」につきましては、昨年9月に2型糖尿病を効能・効果とした一部変更承認を取得し、本効能・効果に関わる医薬情報活動を展開いたしております。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアクタビス社（アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結会計年度におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成ならびに発売に向けた準備を進めておりますほか、他の技術導出先各社におきましても製品育成が図られております。

その他の事業の売上高は、93億9百万円（前連結会計年度同期比12.7%増）となり、情報サービス業、物品販売業、建設請負業それぞれにおきまして増収となりました。

利益面では、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加がありましたものの、増収による増益効果が大きく寄与いたしましたほか、前連結会計年度に計上いたしました投資有価証券評価損などの特別損失が減少いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、平成24年12月に承認申請を行いましたグルファストの2型糖尿病を効能・効果とした一部変更承認取得に向けたフォローを行い、前述の通り昨年9月に承認を取得いたしました。同じく昨年9月にはJCRファーマ株式会社（本年1月に日本ケミカルリサーチ株式会社より社名変更）との間で持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ（一般名）のバイオ後続品の共同開発に関する契約を締結し臨床試験に向けた準備を進めましたほか、バイオ医薬品事業への新たな取り組みとして、本年2月にバイオベンチャー企業でありますアルテオジェン社（韓国）との間でバイオ後続品の研究提携に関する契約を締結いたしました。なお、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬デクスラゾキサン（一般名、開発番号KDX-0811）につきましては、本年1月17日付けにて製造販売承認を取得いたしましたことから、薬価基準記載後に製品名「サビーン[®]点滴静注用」として販売を開始する準備を進め、本年4月17日に新発売いたしました。また、杏林製薬株式会社との間で共同開発を進めてきました過活動膀胱治療薬KEA-0447（開発番号）の臨床試験を開始するなど、各テーマにつきましても引き続き研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。このほか、昨年12月には当社が創製いたしました痛風・高尿酸血症治療薬KUX-1151（開発番号）につきまして、日本を除く全世界における独占的開発及び販売権をファイザー社（アメリカ）に許諾する契約を締結いたしました。

次期の見通し

国内医薬品市場におきましては、本年4月に実施されました薬価改定の影響や後発品使用促進策をはじめとする医療費抑制策が強力に推進され、引き続き厳しい経営環境下にあります。

その他の事業におきましても、景気の持ち直し感が出始めてはいるものの、内需の停滞を背景に厳しい業界環境が継続するものと予想されます。

このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。

現時点での平成27年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は672億円（当連結会計年比4.5%減）、営業利益は78億円（当連結会計年度比36.6%減）、経常利益は87億円（当連結会計年度比35.8%減）、当期純利益は61億円（当連結会計年度比32.9%減）を見込んでおります。

・売上高

医薬品事業におきましては、引き続きユリーフ、グルベス及びエポエチンアルファBSなどの育成を図りますが、本年4月に実施されました薬価改定の影響や平成26年3月期に研究開発テーマ（開発番号KUX-1151）の導出に係る契約金収入により大幅に増加しました技術料売上の減少を見込んでおりますことなどから、減収の計画です。その他の事業におきましては、不透明な経営環境を背景に減収を見込んでおります。

・利益

医薬品事業におきましては、減収ならびに引き続き積極的に研究開発費や製品育成のための経費を投入いたしますことなどにより、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ減益を見込んでおります。その他の事業におきましては、減収による減益を見込んでおります。なお、営業外損益ならびに特別損益におきましては特別なものは見込んでおりません。

対処すべき課題

製薬産業を取り巻く経営環境は激変の最中にあります。日米欧においては医療費適正化に向けたさまざまな医療制度改革が進められ、また新興国においては医療ニーズが拡大するなど、医薬品市場はグローバルな規模で大きく変化しています。さらに、希少疾病に対する治療や生活の質（Quality of life）の希求など医療ニーズが高度化、多様化する一方、新薬シーズの枯渇、新薬開発コストの増大などにより研究開発活動の生産性はますます厳しくなっており、企業間競争は熾烈を極めております。

このような経営環境下において、当社は継続的に新薬を創出することにより、当社の存在意義・存在価値を生む製品ポートフォリオを構築し、創業研究開発型企業として持続的成長を図るための取り組みを推進してまいります。

平成26年度から平成28年度までを実行期間とした中期経営計画「PROGRESS 3」におきまして、以下の6項目を対処すべき課題として設定し、その早期実現に向けて注力してまいります。

- ① 独自性と競争優位性を持つ製品ポートフォリオの充実・強化
- ② 開発テーマの効率的な臨床試験推進と早期着実な承認取得
- ③ 国内医療用医薬品市場における競争優位性確立と売上高獲得
- ④ 海外展開の推進と海外収益の獲得
- ⑤ 効率的な生産体制の構築と高品質医薬品の安定供給
- ⑥ ヘルスケア事業の収益確保とビジネス拡大

研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創業研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

●自社

(平成26年5月現在)

開発段階	製品名／一般名／開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	サラジェン®／ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
申請準備中	ユリーフ®／シロドシン	創製品／第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	剤形追加 (OD錠)
第Ⅲ相	PA21	導入品／ピフォーファーマ(スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅱ相	オザグレル／KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	KWA-0711	創製品	慢性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域：フランス
第Ⅰ相	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
	エボエチナルファBS注「JCR」／JR-013sc	導入品／JCRファーマ共同開発	腎性貧血、自己血貯血	赤血球増加作用	バイオ後続品 高単位製剤
	KEA-0447	創製品／杏林製薬共同開発	過活動膀胱	選択的プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用	

●導出

(平成26年5月現在)

開発段階	一般名／開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド(mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン ^{※1}	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン(silodosin)		アセアン ^{※2} 、インド ^{※2} 、スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン(bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
第Ⅰ相	ベドラドリン(bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※1：発売：タイ、承認：フィリピン、ミャンマー、申請中：3カ国

※2：発売：タイ、承認：インド、申請中：アセアン3カ国

トピックス

創製品の技術導出

昨年12月に、痛風・高尿酸血症治療薬(開発番号：KUX-1151)についての独占的開発、販売権をファイザー社(アメリカ)に許諾する契約を締結しました。

本剤は、尿酸生成に働くキサンチンオキシダーゼと、尿酸の再吸収を担う尿酸トランスポーター(URAT1)を共に阻害し血清尿酸値を低下させる、新しいアプローチの痛風・高尿酸血症治療薬となることが期待されています。

当社は新薬の研究開発に注力し、創製品の国際展開を図っております。すでに前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン」(日本製品名：ユリーフ®)は世界各国で発売されており、今後も販売国数や売上が増加が見込まれます。当社は、引き続き新薬創出とライセンスアウトによる国際展開を通じて、世界の人びとの健康に貢献してまいります。

新発売

当社は、慢性腎臓病などで低たんぱく食事療法を行っている方に、主食や惣菜をはじめとしたたんぱく質調整食品を開発・販売しております。

低たんぱく食事療法はその基本が食塩摂取量の低減であり、減塩食品が求められております。昨年12月に、「減塩げんたぼん酢」を新発売いたしました。「減塩げんたぼん酢」は市販のポン酢に比べ、たんぱく質と食塩相当量を約1/2に調整し、果汁と穀物酢を贅沢に使い、ダシで味に厚みを持たせました。柑橘類のフレッシュ感と酸味によるさっぱりとした風味があり、醤油やドレッシングに代わる調味料として、「つける、かける、和える」など各種料理に幅広く使用できます。

「減塩げんたしょうゆ」、「げんた万能うまみそ」、「げんたつゆ」とあわせて、成分を調整した調味料も4品揃いました。食塩の摂取制限が必要な方がこれらの調味料をご利用いただくことで、より豊かな食生活を送ることが期待できます。

お問い合わせ先

ヘルスケア事業部お客様相談センター

フリーダイヤル：0120-515-260(受付：平日9:00~17:00)



(減塩げんたぼん酢)

財務諸表 (連結)

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)		前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	92,262	100,894	流動負債	15,577	17,879
現金及び預金	23,937	31,266	支払手形及び買掛金	4,882	5,390
受取手形及び売掛金	25,005	23,711	短期借入金	2,001	1,871
有価証券	27,344	27,048	未払法人税等	1,992	3,231
商品及び製品	5,197	5,318	賞与引当金	2,153	2,620
仕掛品	355	688	役員賞与引当金	22	29
原材料及び貯蔵品	5,570	6,806	返品調整引当金	14	13
繰延税金資産	2,030	2,354	売上割戻引当金	363	349
その他	2,824	3,701	販売費引当金	179	165
貸倒引当金	△2	△1	その他	3,967	4,207
固定資産	67,765	71,754	固定負債	9,666	11,948
有形固定資産	26,527	26,960	長期借入金	1,525	1,409
建物及び構築物	10,610	11,542	繰延税金負債	3,100	3,817
土地	13,190	13,069	退職給付引当金	4,199	-
建設仮勘定	552	-	役員退職慰労引当金	119	132
その他	2,173	2,347	退職給付に係る負債	-	5,796
無形固定資産	818	692	資産除去債務	101	106
投資その他の資産	40,419	44,102	その他	619	687
投資有価証券	38,091	41,669	負債合計	25,244	29,828
長期貸付金	122	137	(純資産の部)		
長期前払費用	668	584	株主資本	123,761	130,844
繰延税金資産	423	566	資本金	24,356	24,356
その他	1,163	1,197	資本剰余金	24,254	24,254
貸倒引当金	△49	△52	利益剰余金	83,832	90,918
資産合計	160,028	172,649	自己株式	△8,681	△8,684
			その他の包括利益累計額	10,797	11,745
			その他有価証券評価差額金	10,797	12,724
			退職給付に係る調整累計額	-	△978
			少数株主持分	225	231
			純資産合計	134,784	142,821
			負債純資産合計	160,028	172,649

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	62,491	70,399
売上原価	21,143	23,180
売上総利益	41,348	47,218
販売費及び一般管理費	33,586	34,917
営業利益	7,761	12,301
営業外収益	1,148	1,341
営業外費用	60	102
経常利益	8,849	13,541
特別利益	0	46
特別損失	857	187
税金等調整前当期純利益	7,992	13,400
法人税、住民税及び事業税	3,127	4,510
法人税等調整額	△176	△226
少数株主損益調整前当期純利益	5,042	9,117
少数株主利益	22	23
当期純利益	5,019	9,093

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成25年4月1日期首残高	24,356	24,254	83,832	△8,681	123,761	10,797	-	10,797	225	134,784
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△2,007	-	△2,007	-	-	-	-	△2,007
当期純利益	-	-	9,093	-	9,093	-	-	-	-	9,093
自己株式の取得	-	-	-	△3	△3	-	-	-	-	△3
自己株式の処分	-	0	-	0	0	-	-	-	-	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	1,926	△978	947	6	954
連結会計年度中の変動額合計	-	0	7,085	△3	7,082	1,926	△978	947	6	8,036
平成26年3月31日期末残高	24,356	24,254	90,918	△8,684	130,844	12,724	△978	11,745	231	142,821

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,287	11,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,075	△2,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,038	△2,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△12
現金及び現金同等物の増減額	5,177	7,313
現金及び現金同等物の期首残高	45,773	50,951
現金及び現金同等物の期末残高	50,951	58,265

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（個別）

●貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (平成25年3月31日現在)	当事業年度 (平成26年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		87,862	95,643
固定資産		66,593	70,148
有形固定資産		25,675	25,932
無形固定資産		763	679
投資その他の資産		40,154	43,537
資産合計		154,456	165,792
(負債の部)			
流動負債		12,141	13,530
固定負債		8,849	10,153
負債合計		20,990	23,684
(純資産の部)			
株主資本		122,670	129,389
資本金		24,356	24,356
資本剰余金		24,254	24,254
利益剰余金		82,741	89,463
自己株式		△8,681	△8,684
評価・換算差額等		10,794	12,718
純資産合計		133,465	142,108
負債純資産合計		154,456	165,792

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当事業年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高		54,231	61,090
売上原価		15,117	16,280
売上総利益		39,114	44,809
販売費及び一般管理費		31,877	33,159
営業利益		7,236	11,649
営業外収益		1,255	1,445
営業外費用		143	185
経常利益		8,348	12,908
特別利益		0	46
特別損失		856	180
税引前当期純利益		7,492	12,774
法人税、住民税及び事業税		2,900	4,170
法人税等調整額		△110	△124
当期純利益		4,702	8,729

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成25年4月1日期首残高	24,356	24,254	82,741	△8,681	122,670	10,794	10,794	133,465
事業年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△2,007	—	△2,007	—	—	△2,007
当期純利益	—	—	8,729	—	8,729	—	—	8,729
自己株式の取得	—	—	—	△3	△3	—	—	△3
自己株式の処分	—	0	—	0	0	—	—	0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	1,923	1,923	1,923
事業年度中の変動額合計	—	0	6,721	△3	6,718	1,923	1,923	8,642
平成26年3月31日期末残高	24,356	24,254	89,463	△8,684	129,389	12,718	12,718	142,108

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

製商品の紹介

●主な医療用医薬品

その他代謝用薬	グルファスト錠 グルベス配合錠 エポエチンアルファBS注JCR	糖尿病治療薬 糖尿病治療薬 腎性貧血治療薬
感覚器官用薬	リザベン点眼液 リズモンTG点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬 緑内障・高眼圧症治療薬
循環器官用薬	ベザトールSR錠 キサンボン注	高脂血症治療薬 脳循環改善薬
消化器官用薬	サラジェン錠 ガスコン アラント	口腔乾燥症状改善薬 消化管内ガス駆除薬 胃・十二指腸潰瘍治療薬
ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	ユリーフ錠 ウテメリン フラグミン静注 ゾラデックス1.8mgデポ フルスタン錠	排尿障害改善薬 切迫流・早産治療薬 血液凝固阻止剤 子宮内膜症治療薬 活性型ビタミンD ₃ 製剤
アレルギー用薬	リザベン ドメナン錠	アレルギー性疾患治療薬 気管支喘息治療薬

●主なヘルスケア食品

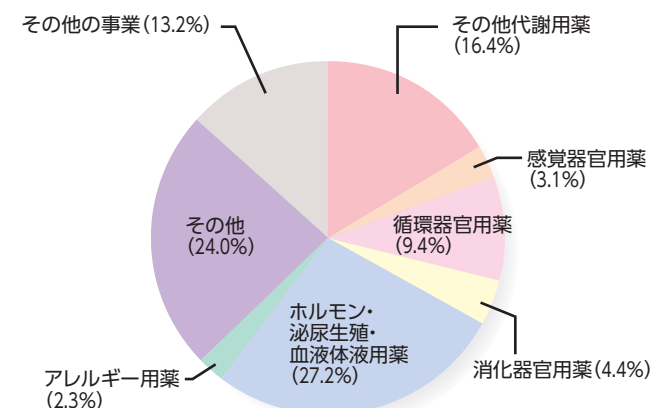
介護・高齢者向け食品

新スルーキング i・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうに食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召し上がれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召し上がれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味の3種類があります。

●連結売上高比率 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召しあがれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽に召しあがれます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしい乾麺です。

株式の状況

発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 56,911,185株
 株主数 3,671名 (前期末比増減 339名減)

●大株主

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000百株	6.2%
有限会社カンザワ	31,782	6.2
神澤邦雄	27,030	5.3
株式会社八十二銀行	25,703	5.0
株式会社みずほ銀行	25,702	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,017	3.9
神澤陸雄	15,284	3.0
キッセイグループ従業員持株会	13,125	2.6
鍋林株式会社	12,223	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,552	2.2

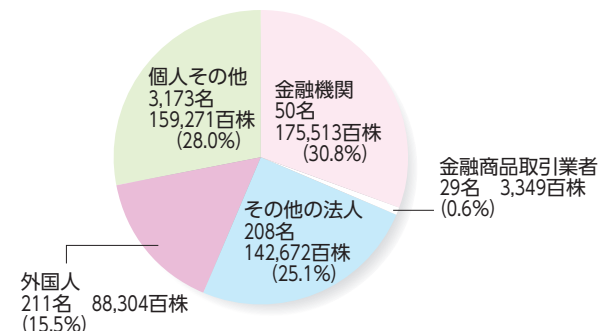
(注) 1. 当社は自己株式54,406百株を保有しておりますが、上記大株主には記載していません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株価チャート

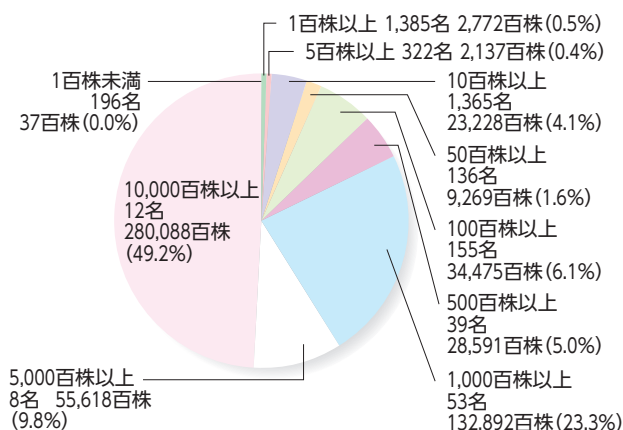


(平成26年3月31日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社の概要

(平成26年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**
 設立 昭和21年8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の製造販売
 本社 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店
 (注)支店の下に46営業所を設置しております。
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)、上越化学研究所(新潟県上越市)、ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)
 従業員数 1,534名

(平成26年6月27日現在)

役員
 代表取締役会長 神澤陸雄
 代表取締役社長 両角正樹
 取締役副社長 赤羽増夫
 専務取締役 佐藤公衛
 常務取締役 伊佐治正幸
 常務取締役 福島敬二
 取締役 浅川喜二
 取締役 橋本琢夫
 取締役 竹花泰人
 取締役 宗井健司
 取締役 高山水敏哲
 取締役 清米重真
 取締役 足立寿喜夫
 取締役 上野紘志
 取締役 中川寛道

ホームページのご案内

タイムリーな情報をホームページで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



CSR報告書

環境やCSRの取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先：広報部 TEL：0263-25-9523 (土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)